

宗教哲学会 第15回学術大会

2023年3月25日(土)
京都大学 文学部校舎

研究発表

第1部会(文学部校舎 第4講義室) 10時00分～12時25分

1. エディット・シュタインにおける宗教体験の現象学
中川暖(上智大学)
2. 受容の根源性について
—ブルーメンベルク「隠喩学」へのひとつの序奏
下田和宣(成城大学)
3. 三宅剛一における歴史と超越
若見理江(就実大学)

第2部会(文学部校舎 第6講義室) 10時50分～12時25分

1. アブラハム・ガイガーのユダヤ学
佐藤貴史(北海学園大学)
2. レヴィナスの語りにおけるアリストテレス哲学
—マイモニデスを背景に
長坂真澄(早稲田大学)

シンポジウム 14時～17時30分 (文学部校舎 第3講義室)

「戦争と宗教」

1. 神政学の台頭？
—ウクライナ侵攻における正教会ファクター
高橋沙奈美(九州大学)
2. 戦争論の歴史と現在 —キリスト教を中心に
芦名定道(関西学院大学)
3. アーレントと戦争の問題
森一郎(東北大学)

司会・趣旨説明：秋富克哉(京都工芸繊維大学)

コメンテーター：氣多雅子(京都大学)

コロナウイルスの感染状況によっては開催形式の変更の可能性があります。
会員以外の方も参加料500円でご参加いただけます。